

海老名市立今泉小学校 学校運営協議会 議事録
(令和3年度 第2回)

- 1 日時 令和3年10月27日(水) 10:00~12:00
- 2 場所 海老名市立今泉小学校 校長室 他
- 3 出席委員 中野隆則委員長、守屋佐千子副委員長、
田口春代委員、和泉雅幸委員、木島智恵美委員、
和田修二(校長)、住田晶子(教頭)、村川静保(教務)

4 会議の内容

(1) 学校長および会長挨拶

和田校長：学校の現在の状況は、10月16日よりレベル1で教育活動を行っている。遠足、野外教育活動、運動会の練習等が始まり、学校が動き出した。今日は2本の議題について協議し、その後、建設中の増築校舎の見学に行く。さらに、英語の研究授業を参観していただく。よろしくをお願いします。

中野会長：新型コロナ感染症レベル1になったとはいえ、マスク等制約のある生活が続いている。運動会を11月20日に延期するなど、様々な予定変更やコーディネートはご苦労が多いと思われる。学校の助けになることをやっていく。新しい校舎は楽しみ。先日の青健連の役員会で新しくできる「スーパーエイビィ」のことが話題にあがった。今小の周りは交通量が増える。朝は登校班があるから安心だけど、帰りは危惧される状況。本日はよろしくをお願いします。

(2) 協議事項

【議題①：学校の状況について】

1. 新型コロナウイルス感染症の地域の感染レベルと学校教育活動
2. 令和3年度全国学力・学習状況調査 結果概況
3. 登校班の在り方に関する保護者アンケート
4. 令和3年度学校評価アンケート

和田校長：(上記4点について、資料を提示して一括して説明する)

これまで感染状況に合わせて教育活動を行ってきた。特徴的なのは音楽。

レベル3のときはピアノやリコーダーは演奏せず、代わりに電子キーボードを使用した。レベル2では10分間以内と時間を制限して演奏した。現在のレベル1では通常通りにしている。もちろん教室内で1mを目安に距離をとっている。ここ数日間は、市内の新規感染者は非常に少ない状況。

中野委員：新規感染者は県内でも少なくなり安心している。

和田校長：全国学力・学習状況調査は全国の6年生対象の国の調査。数値は公表していないが、本校は国語・算数ともに、全国の平均を上回っている。ただ、国語の漢字の書きは、3問とも全国平均を下回っていた。漢字が書ければ、さらに結果はよくなる。

児童質問紙の結果においても、よい傾向が出ている。生活習慣や学習習慣において、全国平均を5ポイント以上上回った設問は多い。反対に、5ポイント以上下回ったものは、テレビゲーム・スマホゲームの1日の使用時間といじめはどんな理由があってもいけないという設問。

次は、今月に行った登校班の在り方についての保護者アンケート。登校班については、これまでも保護者の方からいろいろご意見をいただいております。ここでアンケートを実施することとした。現在集計中だが、登校方法については、登校班による集団登校を支持している保護者が多い傾向にあることが分かった。詳細については、11月の学校だよりで結果をお伝えする予定。保護者にとっても、安全な登校方法を望んでいる。

次は、現在実施している学校評価アンケート。保護者、子ども、教職員対象に実施している。保護者と教員は同じような設問として、結果を比較できるようにしている。児童は学校生活を振り返って、どのように捉えているのか。第3回学校運営協議会で結果を示す。

和泉委員：学力調査の結果から学力が高い学校ということが分かる。新しくマンションに居住した方など、学力に関心が高い地域ではないか。

児童質問紙でのいじめに関する結果をみると、勉強だけでなく思いやりを育む必要がある。登校班については、親の負担が大きいから集団登校をやめてほしいという意見もあるのではないかと。

児童のアンケートで、「外で元気に遊んでいる。」という設問があるが…

田口委員：遊びたくても遊べない子もいる。外で遊ぶことが嫌いな子もいる。

今泉小は昔からいい学校。この地域は穏やかで教育熱心。子どもたちへの愛情がある地域、優秀な子がいる、全国的に見たら都会的だけど、田園風景もある。それに見合った育ち方をしている。他の地域からきた方がスパイラルであがっていくとよい。

和田校長：学力だけでなく、心も育てていかなければならない。

守屋委員：児童質問紙で、「3時間以上勉強をしている」割合が、全国よりかなり高い結果になっている。

田口委員：中学受験する児童が多いのか？

和田校長：私立中学に進学する児童は一定数いる。

守屋委員：私立中学に行く児童の数は、その年によって異なるのではないか。

木島委員：登校班の地区委員については、乳幼児がいて引き受けにくい保護者がいる。中には、乳児の面倒をみるため、近所付き合いが思うようにできず、孤独を感じている場合もある。今小に通えてよかったと、地元の方と接してよかったと思えるような学校にしたい。今小のいいところで包んであげたい。

守屋委員：登校班については、どうしてもトラブルはある。学校の指導は大変だと思う。上級生も大変だと思うが、下級生の面倒をみる機会となり勉強になる。

田口委員：登校班のアンケート結果を見て、利便性だけではなく、登校班の良さに気づくことができる。

和泉委員：このアンケートの結果は、厳しい意見を含め、保護者に伝えた方がよい。

和田校長：学校だより等で結果を周知いく予定。

中野委員：青健連であいさつ運動を行っているが、支援級など、お母さんと登校している児童がいる。

和田校長：保護者が付き添ってくることはある。安全確保のためありがたい。

中野委員：保護者が付き添ってくる方が増えているように思う。

和田校長：登校班は全国的にみると3割程度。減少傾向にある。海老名市は8校登校班による集団登校を実施。割合は全国より高い。新たに学区に転居された方からは、前の学校ではやっていなかったという情報を聞くことも。

和泉委員：海老名市内の小学校でも集団登校していない学校がある。

和田校長：集団で歩く方が危ない地域もある。

和泉委員：全国的には子どもの数が減っているが、この辺りは集団登校の方が安全ではないか。

和田校長：昨日の地区長会議で、登校班の班編成は地域が、登校班のトラブルは原則として学校が、行うよう整理したいことを伝えた。地区委員等は学校に迷惑かけたくないという思いがあるが、登校班指導は学校で行うことを基本としていきたい。

守屋委員：最近は大人在他の子を叱ることができない。傘を振り回している子がいても注意しにくい。

和泉委員：昔は地域のおじいちゃんに叱られた。

守屋委員：駅の自由通路を通過して登校している児童は大変。

田口委員：災害時を考えると地域が守っていることを示すと心強いのではないか。

和田校長：登校班に賛成している意見が多数を占めていた。今後の新生は毎年 200 名程度のペースで入学してくることを考えなければいけない。

中野委員：今小の環境が今後大きく変わっているだろう。

【議題②：チーム今泉小について】

令和 3 年度 チーム今泉小（保護者・地域・団体等との連携）全体図

和田校長：（資料を提示して説明する）

今年度の学校運営協議会のテーマになっている「地域が学校の教育課程の中にどのように関わることができるか」について、今年度の年間予定の中で、外部の方がどれくらい学校の教育活動に協力していただいているかを俯瞰して見えるように資料を作成した。この資料から、学校応援団や外部講師、ボランティア等、多くの方に関わっていただいていることが分かる。

木島委員：私は学校応援団をやっている。学校との連携の中には、学校と企画をするものもある。例えば、授業支援として、野鳥の会に取り次いでもらいたいと依頼を受けた。忙しい先生方のお手伝いが出来たらと思っている。7 月にコロナ禍ではあったが、何とかえびなっ子スクールを行うことができた。行事が中止になる中で、子どもたちに思い出になることができたらと思っていた。稲刈りやしめ縄づくりなど、今後も地域と関わりをもちながら学校と連携してやっていきたい。

和泉委員：学校応援団と連携した取組は教科で行っているのか。

和田校長：例えば、田植えは 5 年生の総合的な学習の活動で扱っている海老名の農業に関連した取組として行っている。

和泉委員：地域連携や外部講師等は学習の一環としてとてもいい取組。責任の所在についてはどうか。

木島委員：学校応援団は教育委員会の事業の一つで、ケガをした場合は保険の対象となる。子どもがケガをしても保険の対象となる。以前、キャリア教育で、6 年生が産総研を見せてもらった。学校応援団は、学校と関係機関の橋渡しをしている。学校が野鳥観察を学習に取り入れたいという要望があれば、学校応援団が声を掛けて、橋渡しをし、後は学校が講師の先生と相談をする。

和田校長：3 学期に予定している 1 年生の昔あそびは？

木島委員：昔あそびは長寿会に声を掛けてきたが、年齢のこと等、懸念事項があり今後学校と相談していく。

和田校長：それを一からやると先生たちは大変。コーディネートをやっていただけるとありがたい。

木島委員：6年生からキャリア教育の話を依頼されることもある。

和田校長：本校の隣が消防署なので、訓練を見るだけでもキャリア教育になる。

中野委員：青健連では、押し売りはしない。学校や地域の要請があれば協力したい。

和田校長：今年度、地域の方を招く「しいのみパーク」は、コロナ禍のため中止になってしまった。

和泉委員：コロナはこのまま落ち着くとは限らない。第6波を想定しておく必要がある。

和田校長：学校では、1人1台端末を自宅へ持ち帰り、学校と家をウェブ会議システムで接続する取組の試行を2回実施した。本校は、Wi-fi環境が整っている家庭が多いことが強みになっている。

(3) 増築校舎見学（1階、3階、4階のみ）

- ・全員で建設中の増築校舎を見学する。
- ・教育総務課および工事業者から見学フロアの説明を受ける。

各委員より：新校舎の完成が楽しみ。

新しいスタイルの授業が考えられる。

一般開放される特別教室が市民に活用されるとよい。

えびなっ子スクールの開催時は、スペースを有効に活用したい。

(4) 6年外国語授業参観

- ・英語専科教諭とALTによる6年外国語授業を参観する。

各委員より：小学校英語の授業に驚いた。

小学校段階でレベルの高い授業をしている。

英語専科教諭とALTが楽しさを演出していてよい。

ICT機器を有効に活用していた。

(5) その他

次回の学校運営協議会は令和4年2月25日10:00から開催予定。